



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



国際ロータリー第2610地区

南砺ロータリークラブ

NO. 2534

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail [office@nanto-rc.jp](mailto:office@nanto-rc.jp)

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

# クラブ会報 なんと

撮影 写真同好会 山田 孝会員



福光地内にて

## 第2593回例会 令和3年11月16日(火) 曇14℃

- ◆点 鐘 12:30 北島芳信会長
- ◆司 会 片山道代SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」
- ◆ゲスト (株)日本抵抗器製作所 代表取締役社長 木村 準 様 (JRM本社よりオンラインにて)



### ◆会長の時間 北島芳信会長

皆様今日は。本日もご参加ありがとうございます。

今日は荒井会員の担当で、皆様お待ちかねの(株)日本抵抗器製作所代表取締役社長木村準(きむらひとし)様の卓話です。木村準様並びにお手伝いの(株)日本抵抗器製作所社員様におかれましては、ご多忙のところご準備いただきまして誠にありがとうございます。どうか宜しく願いいたします。

先日記念フォーラムも行われましたが、松村謙三先生没後50年であります。延いては当時厳しい内外情勢の中、松村先生が全身全霊を捧げてご尽力なされた日中国交回復もまた50年となります。世界が対中傾斜に大きく舵を取ったことも知らない日本は、ニクソン米大統領の日本の頭越し訪中に驚き、おっとり刀で田中角栄首相が北京の毛沢東の私室にまで出向いたのでした。

ところで先頃、中国共産党の幹部は、習近平総書記(国家主席)を「舵取り」「人民の指導者」と称賛し、今後も習氏が指導力を発揮することに支持を表明しました。同国では共産党の重要会議が、党の歴史と成果を総括する「歴史決議」を採択して閉幕し、今回の決議で習氏の権威は強まるとみられ、「舵取り」「人民の指導者」は50年以上前、毛沢東に用いられた表現だそうです。

日本のインターネット報道などには偏向もあると思いますが、それでも一帯一路やコロナ対策、共同富裕に成功したとは思えないと思います。この歴史決議が馬鹿馬鹿しいと思っても、日本人としてはやはり無関心でいるわけにはいかないのではないかと思います。有識家の方々の分析評論をいただきたいところです。

松村謙三先生は、アジアの平和のために、日本と中国はお互いの立場を認め合って協力しなければならない。日中の国交回復は、われわれ両国の子孫のためにも実現しなければならないとお考えでした。習近平国家主席が目指すのは周辺国の国民から反感を買いかねない覇権の拡大ではなく、援助救済を軸とした平和の構築であるというような話には、はたして現実味はあるのでしょうか。

### ◆幹事報告 吉田 実幹事

- ①小矢部、高岡万葉RCより例会変更の案内を戴いております。
  - ◆事務局案内
    - 舘田宏美事務局員が以前のように担当できるようになりました。
- 北島会長より、歓迎と励ましの意味を込めて花束を贈呈。



### ★ニコニコボックス 11/16 大西正芳委員

- 木村準様より卓話御礼を投函いただきました。
- 北島君 (株)日本抵抗器製作所社長 木村準様をお迎えて。お話が楽しみです。
- 吉田実君 木村社長様、本日、卓話よろしく願い致します。
- 山田喜君 気持ち悪いくらい暖かです。能登半島、毎日揺れてる!!! どこかの山、噴火するのではないのかネエ。北アルプスでないことを祈ります。7月から体を感じないのも入ると、11月初めまで3200回だそうです。
- 武田君 先週は卓話の機会を与えていただきありがとうございます。荒井先輩、卓話ありがとうございます。
- 木勢君、澤田君、尾山君、山田孝君、安居君、木村君、松本君/木村社長の卓話、楽しみにしております。
- 古瀬君、牧君/木村社長卓話楽しみです。舘田さん今後共、宜しくお願いします。
- 岡部君 今日は、木村社長の卓話楽しみに聞かせて頂きます。14日は高岡RCの70周年記念に北島会長と参加して来ました。
- 榊 君 2週続けて上京する用事がありました。新幹線も随分混んで来ました。干柿の皮むきも第3コーナーから第4コーナーに差しかかりました。ラストスパートです。
- 片山道君 木村社長様ようこそ。舘田さん、お帰りなさい。
- 《SAAより》本日より温かい食事準備致しますので、各自セルフで宜しく願います。息子が第10回チー1グランプリ(チーズを使った料理)で全国の12作品に選ばれました。
- 谷村修君 本日は好物のカレー。そしてカレーには温かい味噌汁が必須である。五臓六腑に染み渡る～。
- 中田君 祝! 藤井四冠、新竜王。いつもネットで対局を楽しんでいます。
- 古軸君 暫く良い日が続き有難いです。先日、中田先生にたいへんお世話になりました。中田先生有難うございました。
- 荒井君 木村社長、本日は卓話ありがとうございます。
- 大西君 木村社長様、卓話楽しみです。榊さんの全国過疎連盟、副会長就任おめでとうございます。舘田さん復帰、今後共よろしく願います。

### 本日のプログラム 11月30日(火) 第2594回例会 卓話

担当 岩木貴之会員

### ◆出席報告 谷村修基委員長

会員数	11月16日出席率	11月2日(未修正)
44 (免除0)	72.73% (欠12)	63.64% (欠20・メーク?)

### 次回の予定 12月7日(火) 第2595回例会 インターアクト(IA)セミナー

担当 IA委員会 山田清志委員長



＜核心的利益＞

■2009/7月米中戦略経済対話にて戴秉国国務委員、**核心的利益**として以下の三点を語った

1. 国家主権と領土保全

- \*台湾問題\*一つの中国原則\*チベット独立運動問題
- \*東トルキスタン独立運動問題\*南シナ海問題(九段線・南海諸島)\***尖閣諸島問題**

線・南海諸島) \*尖閣諸島問題

2. 国家の基本制度と安全の維持

3. 経済社会の持続的で安定した発展

＜中国軍備拡大＞

■米インド太平洋軍司令官、

「中国による現状変更」に懸念(3/9)

- 上院軍事委員会の公聴会で証言し、中国の急速な軍備拡大により「中国が一方向的に現状変更を試みるリスクは高まっている」と危機感を示した。

「中国による現状変更」に懸念  
米インド太平洋軍のデービッドソン司令官  
上院軍事委員会の公聴会で証言:3月9日

■中国の急速な軍備拡大により「中国が一方向的に現状変更を試みるリスクは高まっている」

■6年以内に台湾進攻を目指す恐れがある

2009/7月米中戦略経済対話にて戴秉国国務委員、**核心的利益**として以下の三点を語った

1. 国家主権と領土保全

- \*台湾問題
- \*一つの中国原則
- \*チベット独立運動問題
- \*東トルキスタン独立運動問題
- \*南シナ海問題(九段線・南海諸島)
- \***尖閣諸島問題**

- 2. 国家の基本制度と安全の維持
- 3. 経済社会の持続的で安定した発展



对中国、崩れた米軍優位

日本経済新聞 3月16日

中国軍と米軍のアジア前方展開の主な海空戦力		中国軍	
米軍	中国軍	(現在)	(25年)
250	250	主力戦闘機	1250 1950
10	10	爆撃機	175 225
1	1	哨戒機	15 30
4	4	空母	2 3
12	12	強襲揚陸艦	8 12
10	10	主力戦闘艦艇	60 108
		主力潜水艦	56 64

(注)出所は米軍や米国防総省の資料。数字は機数。2025年は推定。写真はロイター

■日中戦闘機配備

○自衛隊:F-35A/B;21機 F-15J/DJ;201機 F-2A/B;91機 計:313機

○人民解放軍:J10:450~550機 J11:450~500機 J16:150機

J20:50機 J15:50機 計:1250機

2025年には:+700:1950機に増加の予測

○米軍戦闘機配備:250機

:日米対中国 563:1250

＜スタンドオフミサイル＞

○防衛省:長射程ミサイル、22年取得予定

離島防衛、「敵基地攻撃」転用も一まずF35に搭載予定

○JSM:ノルウェイ製 対艦 対地 F35Aに搭載予定 航続距離500km

○航空自衛隊のF15戦闘機に対地攻撃用巡航ミサイルなどを搭載する改修を巡り、防衛省が現計画の全面的な見直しを決めた。(4/7)

○現在主力戦闘機F15Jには対地、対艦ミサイル、爆弾も積めない。

＜尖閣有事＞

■**侵攻シナリオ**:台湾有事との関連、

ヘリによる侵攻、米空母は時間かかる、久場島上陸

■**サイバー攻撃**:マルチドメイン戦、尖閣侵攻では有効でない

■**ミサイル攻撃**:弾道、巡航:自衛隊の上陸阻止、航空自衛隊と米軍基地攻撃

■**DF17配備**:極超音速ミサイル、基地攻撃、

■**通常軍備でも中国優位**:戦闘機の数、爆撃機の数、戦闘艦艇の数、無人機の数

■**制空権**:戦闘機の数:中国日米の2倍、出動基地中国近い、装備ミサイルの数

■**爆撃力**:F15爆撃力なし、F2爆撃可能:中国軍全戦闘機爆撃可能、爆撃機175機

■**無人機**:J6、ドローン、爆撃可能

■**致命的問題**:掩(えん)体壕:航空機が沖縄基地に集結、掩体壕不足

尖閣諸島位置関係図



(今回の会報担当・牧千収)

自衛隊の戦闘機



F15戦闘機



中国海警局巡海

中国に台湾全体を攻め落とす能力ない...軍事侵攻可能性は低い」6月7日

マーク・スリー統合参謀本部議長は、米議会下院歳出委員会の公聴会で、中国が台湾に軍事侵攻する可能性を巡り、「近い将来に起こる可能性は低い」という見解を示した。

一方、オースティン国防長官は、同じ公聴会で「台湾統一は関連しない中国の目標だ。それを裏付ける十分な情報を持っていない」と警戒感を示した。

スタンドオフ・ミサイル

LRASM 約900km 開発中 対艦・対地用。F15に搭載検討  
米ロッキード・マーチン社

JASSM 約900km 生産中 対地用。F15に搭載検討  
米ロッキード・マーチン社



掩体(Hard shelter)整備の飛行場群

